

## 「学術情報リポジトリ」による 研究成果の発信

奈良文化財研究所では、研究成果の社会的還元のため、過去の刊行物をインターネット上で電子公開しています。コンテンツは、紀要(年報)・概要・学報・史料・発掘調査出土木簡概報・飛鳥資料館図録・現地説明会資料・展示解説資料・奈文研ニュース等です。各コンテンツには、それぞれOCR(光学文字認識)処理を施しているため、任意のキーワードで全文検索できます。そのため自分の興味がある論文に容易にたどり着くことが可能です。

2015年1月現在、論文(記事)単位で1,894件公開しています。電子公開には、図版類の許諾確認が必要であり、確認を進めつつ、権利関係をクリアしたコンテンツから順次公開しています。

人気のあるコンテンツは、現地説明会資料や展示解説資料等です。これらの資料は性質上、冊子体になっておらずパンフレット形式であるため、全国の図書館には配本されません。現地説明会や展示場所以外では入手できないため、電子公開は、貴重なコンテンツ提供の場所となっています。

2015年1月には、国立情報学研究所が提供しているNII学術情報データベースCiNiiとデータ連携を開始しました。これによりCiNiiで検索した論文を奈文研のリポジトリにて本文を電子閲覧することが可能となり、成果提供の機会が増え、利便性が向上しました。

利用者の方々にはたいへん好評で、アクセス件数は増加基調です。一度、「学術情報リポジトリ」にアクセスいただき、研究成果をぜひご活用ください。

(研究支援推進部 高田 祐一)



学術情報リポジトリ トップページ  
(<http://repository.nabunken.go.jp/>)